

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1970101604		
法人名	メディカル・ケア・サービス株式会社		
事業所名	愛の家グループホーム甲府後屋		
所在地	山梨県甲府市後屋町97-1		
自己評価作成日	平成27年10月6日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/19/index.php
----------	-----------------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	山梨県社会福祉協議会		
所在地	甲府市北新1-2-12		
訪問調査日	平成27年10月22日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

甲府市内の新興住宅街の中にある愛の家グループホームは、窓際からすぐ隣にグラウンドを見渡せる大国小学校があります。学習の一環にて毎年、小学生との交流会や大国地区自治会主催による納涼会などに参加させて頂いております。
『愛の家』は認知症の高齢者がスタッフと共に少人数による家庭的な雰囲気の中で、自由に趣味や家事を通じ、自立した日常生活を楽しむという場所です。
ご利用者様が安心して生活し、自己の能力を最大限発揮しながらご利用者の意思決定を尊重し、生活を営むものであることとしています。後、山梨県内の6ホームで連携をとれます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所は単独二階建て1階と2階の2ユニットである。甲府市南部に位置し事業所周辺は集合住宅が多く立ち並ぶ新興住宅地である。隣接している小学校のグラウンドが事業所の窓から見渡せ、春の桜や木々で常に季節を感じる事ができる。また、地域の保育園児や小学生、地域のボランティアの来訪があり地域との交流を行っている。「愛の家グループホーム」の事業所は県内に6か所あり、年2回全職員が参加出来るよう3日間研修会を実施して利用者のケアに対する職員の質の向上を図っている。毎日の食事は利用者の楽しみとなるよう手作りにこだわり、職員と一緒にテーブルを囲んで楽しく食事が出来る環境づくりに努めている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

調査シート(自己評価および外部評価結果)

事業所名 (愛の家グループホーム甲府後屋)

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(1F)	ユニット名(2F)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法人の理念は勿論、ホームとしては「全てはご入居者様の為に」その人らしく安楽な生活を生涯送っていただきたいと考えている	法人の理念は勿論、ホームとしては「全てはご入居者様の為に」その人らしく安楽な生活を生涯送っていただきたいと考えている	事業所理念があり、「利用者の為に」と意識づけがされている。利用者を優先にと管理者は常に職員に声をかけ、利用者が居心地良く穏やかに生活が出来るよう日々の支援に努めている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一人として日常的に交流している	毎年ホームの隣にある大岡小学校やなでしこ保育園との交流会や地区納涼会に毎年参加している。	毎年ホームの隣にある大岡小学校やなでしこ保育園との交流会や地区納涼会に毎年参加している。	自治会には加入していないが地域の情報は運営推進会議に出席する民生委員や週3回お手伝いに来てくれる地域のボランティアから情報を得て参加している。また、地域の保育園児や小学生の訪問もあり利用者とは交流する機会を作っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	専門職として、地区の民生委員さんを通じて相談を気軽にしてもらうよう周知していただいている。機会が出来るように地域の方々との接点を作るよう努力している	専門職として、地区の民生委員さんを通じて相談を気軽にしてもらうよう周知していただいている。機会が出来るように地域の方々との接点を作るよう努力している		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	開催時には、ホームの活動内容の報告をし、参加者様からの助言や地区の情報などを伺っている。運営推進会議を通じ認知症サポーター養成講座の開催や近隣の状況などを把握している	開催時には、ホームの活動内容の報告をし、参加者様からの助言や地区の情報などを伺っている。運営推進会議を通じ認知症サポーター養成講座の開催や近隣の状況などを把握している	利用者家族、民生委員、市担当者、地域のボランティア等が出席し2か月に1回開催している。事業所の活動状況を報告し評価や要望、助言をもらうようにしている。出席者から質問や意見、要望を受け話し合いサービス向上に活かしている。	運営推進会議に決まった家族の出席ではなく、多くの家族が1度は会議に出席し事業所の取り組み内容や具体的な課題を話し合う機会が持てるよう取り組みを期待したい。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	いつでも、担当者に気軽に相談できる環境です。	いつでも、担当者に気軽に相談できる環境です。	市の担当者には電話や出向いて相談し、提出書類はいつも直接手渡している。新たに始めようとする取り組み等は相談して情報を得るなど、日頃から連絡を密にして協力関係を築いている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	事業所として身体拘束廃止要綱を掲示しております。全体会議や合同研修などを通じて周知しております。外へ出られない環境は身体拘束に当たる事はスタッフも理解しています。かぎを掛けず日中自由に入出入り出来る環境作りを実施しています	事業所として身体拘束廃止要綱を掲示しております。全体会議や合同研修などを通じて周知しております。外へ出られない環境は身体拘束に当たる事はスタッフも理解しています。かぎを掛けず日中自由に入出入り出来る環境作りを実施しています	6事業所の合同研修や毎月の全体会議で身体拘束の研修を取り入れ、身体的、精神的苦痛を理解し身体拘束をしないケアに取り組んでいる。言葉や施設して利用者の行動を止めてしまわないよう自己決定できるような声掛けや見守りを心がけている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	資料や実際にあったニュースなどを本社よりの通達にて回覧したり全体会議や合同研修などを通じて周知に努めています	資料や実際にあったニュースなどを本社よりの通達にて回覧したり全体会議や合同研修などを通じて周知に努めています		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように努めている	合同研修や本社にての研修を通じて学びが必要があれば、提案をしている。	合同研修や本社にての研修を通じて学びが必要があれば、提案をしている		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時、契約書、重要事項説明書の説明をし分からない事や疑問点に関しては回答し、双方同意のもとにご利用いただいています	入居時、契約書、重要事項説明書の説明をし分からない事や疑問点に関しては回答し、双方同意のもとにご利用いただいています		

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(1F)	ユニット名(2F)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居時に重要事項説明書にてご家族に伝えてあります。又1年に1回法人本部よりご家族に直接アンケートを送付実施し、結果を本部にて管理者に伝え、改善等の進捗を法人本部へ管理者が報告するシステムになっています。その際アンケート結果集約したものを掲示しております	入居時に重要事項説明書にてご家族に伝えてあります。又1年に1回法人本部よりご家族に直接アンケートを送付実施し、結果を本部にて管理者に伝え、改善等の進捗を法人本部へ管理者が報告するシステムになっています。その際アンケート結果集約したものを掲示しております	本部から直接家族にアンケートを送付して、家族の意見、要望を聞いている。集約した結果は各事業所に報告されている。家族が面会に来た時には、何でも言ってもらえるような雰囲気を作り聞くようにしている。家族から日中寝かせないで外に連れ出してほしいなど要望があり、ケアに反映させている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者は朝礼・全体会議・ユニット会議に参加し、スタッフの意見を聞く機会をつくり、意見を反映させている。	管理者は朝礼・全体会議・ユニット会議に参加し、スタッフの意見を聞く機会をつくり、意見を反映させている。	朝礼、全体会議、ユニット会議で職員からの意見を聞いている。職員から出された意見等は、朝礼、ユニット会議で問いかけ、話し合いをして支援に繋げている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個人別人事評価制度があり、評価が給与に反映され、同時に今後の改善点等が個々のスタッフに周知されるシステムをとりいれています	個人別人事評価制度があり、評価が給与に反映され、同時に今後の改善点等が個々のスタッフに周知されるシステムをとりいれています		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	県内6ホーム合同の研修・GH協会・地域の研修などがあれば、スタッフに回覧し参加できるように努めております	県内6ホーム合同の研修・GH協会・地域の研修などがあれば、スタッフに回覧し参加できるように努めております		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同地区グループホームとの交流は若干あります。お互いに入居相談時共有したり、包括センター主催にて地区の交流会・事例報告などもあります。	同地区グループホームとの交流は若干あります。お互いに入居相談時共有したり、包括センター主催にて地区の交流会・事例報告などもあります。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人様との面談を行い本人の気持ちや要望を正確につかむようにしています。又、出来る限りホームを実際に見学していただき納得していただき入居していただいています	ご本人様との面談を行い本人の気持ちや要望を正確につかむようにしています。又、出来る限りホームを実際に見学していただき納得していただき入居していただいています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	相談を頂いた際には、必ずホームを見学していただきグループホームの果す役割や援助の内容を説明すると共にご家族の苦労や要望を伺い十分納得いただいた後にご入居頂く様にしております	相談を頂いた際には、必ずホームを見学していただきグループホームの果す役割や援助の内容を説明すると共にご家族の苦労や要望を伺い十分納得いただいた後にご入居頂く様にしております		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受ける際は、関係者からも情報を集めたくて、相談者とじっくり話しあい必要に応じて他のサービス事業者の紹介などをし、適切なサービスが受けられるように配慮しています	相談を受ける際は、関係者からも情報を集めたくて、相談者とじっくり話しあい必要に応じて他のサービス事業者の紹介などをし、適切なサービスが受けられるように配慮しています		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	管理者はグループホームは介護施設ではなく、認知症高齢者とスタッフの共同生活ですとご家族やスタッフには伝えております。お互いに苦手な部分を補いながら生活しています。	管理者はグループホームは介護施設ではなく、認知症高齢者とスタッフの共同生活ですとご家族やスタッフには伝えております。お互いに苦手な部分を補いながら生活しています。		

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(1F)	ユニット名(2F)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	年間行事でのお花見や運動会などにはご家族の皆様にも参加いただきご本人ととも楽しんでいただいております。また、日々の細かい事も電話や面会時等で一緒に考えて頂く様にしております(毎月のお知らせ日よりメールなど)	年間行事でのお花見や運動会などにはご家族の皆様にも参加いただきご本人ととも楽しんでいただいております。また、日々の細かい事も電話や面会時等で一緒に考えて頂く様にしております(毎月のお知らせ日よりメールなど)		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	外出の際は、行きたい場所に行ったり、会いたい人に会ったりしていただいております	外出の際は、行きたい場所に行ったり、会いたい人に会ったりしていただいております	入居時に利用者、家族等から記入してもらった基本状況から情報を得て把握している。また、日々の関わりの中で利用者から聞いたことのつながりを家族等に確認して記録し、家族との関わりも含め関係を継続出来るよう支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	普段の生活の中で散歩、調理、掃除など入居者様・スタッフが状況に応じて役割を分担し生活しています。その中で、出来る事出来ない事それぞれありますが、お互いに補いながら生活できています	普段の生活の中で散歩、調理、掃除など入居者様・スタッフが状況に応じて役割を分担し生活しています。その中で、出来る事出来ない事それぞれありますが、お互いに補いながら生活できています		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	相談を受ける際にもですが、退去をしなければならぬ状況になっても「何かありましたら、遠慮なく相談してください」と努めている	相談を受ける際にもですが、退去をしなければならぬ状況になっても「何かありましたら、遠慮なく相談してください」と努めている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人様との面談を行い本人の気持ちや要望を正確につかむようにご本人さんが良ければと思いつつ努めています	ご本人様との面談を行い本人の気持ちや要望を正確につかむようにご本人さんが良ければと思いつつ努めています	朝食の時間に起きてこない利用者もいるが、無理に連れて来ることはしないで本人の意向に合わせている。日頃の関わりの中で把握に努め、利用者一人ひとりの思いを汲み取った支援を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に生活情報を記入していただき把握すると共に入居後は情報をきっかけにさせて頂き確認をするように努めています。又、可能な場合は本人様が以前住まわれていたご自宅を訪問させていただき環境の把握に努めています	入居時に生活情報を記入していただき把握すると共に入居後は情報をきっかけにさせて頂き確認をするように努めています。又、可能な場合は本人様が以前住まわれていたご自宅を訪問させていただき環境の把握に努めています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご本人の出来る事出来ない事を正確に把握し、出来る事に着目し、残存能力の維持向上に努めております	ご本人の出来る事出来ない事を正確に把握し、出来る事に着目し、残存能力の維持向上に努めております		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ユニット会議などでの意見交換などを通じてご本人さんが安楽に生活出来るように必要があれば、ご家族や必要な関係者との話し合いなどに努めている	ユニット会議などでの意見交換などを通じてご本人さんが安楽に生活出来るように必要があれば、ご家族や必要な関係者との話し合いなどに努めている	家族、利用者の意見を聞いたり、医療面に関して必要な支援を盛り込んだ介護計画を作成し、3か月に一度短期・長期目標の見直しを行っている。アセスメントを含め毎月全職員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行い情報を共有して介護計画に反映させている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアプラン実施記録を通常の介護記録のほかに記録している。ケアプラン実施記録は日々のケアの反省も出来ると同時に課題に対して○×△形式の為、見やすく、モニタリング意識ができています	ケアプラン実施記録を通常の介護記録のほかに記録している。ケアプラン実施記録は日々のケアの反省も出来ると同時に課題に対して○×△形式の為、見やすく、モニタリング意識ができています		

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(1F)	ユニット名(2F)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	できる限り、ご本人の要望に速やか、且つ柔軟に対応できるよう努めています。ご家族の中には状況的に受診介助が出来る状態では無い為、状況に応じてはホームにて対応させていただいております	できる限り、ご本人の要望に速やか、且つ柔軟に対応できるよう努めています。ご家族の中には状況的に受診介助が出来る状態では無い為、状況に応じてはホームにて対応させていただいております		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ふれあいサポーターを通じて週3日、2名のボランティアさんが来てくださっています。民生委員をはじめ、自治会の皆様にご協力いただき、納涼会に参加をさせていただくと同時に地区の小中学校の福祉事業・職場体験を受け入れて交流を図っております	ふれあいサポーターを通じて週3日、3名のボランティアさんが来てくださっています。民生委員をはじめ、自治会の皆様にご協力いただき、納涼会に参加をさせていただくと同時に地区の小中学校の福祉事業・職場体験を受け入れて交流を図っております		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前からのかかりつけ医に入居後も継続されて診ていただくか、往診医や近隣の専門医に診ていただくかは、ご家族の生活状況を含めて、適宜選択していただいております。決定後はかかりつけ医と連携を取り、適切な医療を受けられるように支援しております。又、受診状況等は速やかにご家族に報告しております	入居前からのかかりつけ医に入居後も継続されて診ていただくか、往診医や近隣の専門医に診ていただくかは、ご家族の生活状況を含めて、適宜選択していただいております。決定後はかかりつけ医と連携を取り、適切な医療を受けられるように支援しております。又、受診状況等は速やかにご家族に報告しております	入居前からのかかりつけ医が事業所の協力医の訪問診療にするのか利用者、家族の希望を聞いて受診支援している。かかりつけ医は原則として家族等同行の受診としている。訪問診療は2週間に1回で受診結果は家族に伝え情報の共有をしている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎週金曜日に訪問看護師に訪問していただいております。又、健康管理の相談や、アドバイスをいただいております。又、24時間訪問看護師と連絡がつくシステムになっており、必要に応じてアドバイスを頂いております	毎週金曜日に訪問看護師に訪問していただいております。又、健康管理の相談や、アドバイスをいただいております。又、24時間訪問看護師と連絡がつくシステムになっており、必要に応じてアドバイスを頂いております		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は、必ず管理者またはそれに準ずるものが付き添い、病院側からの情報提供が速やかにいただける様お願いしております。又、入院中はできるだけ見舞い、その都度看護師等から情報提供をしています	入院時は、必ず管理者またはそれに準ずるものが付き添い、病院側からの情報提供が速やかにいただける様お願いしております。又、入院中はできるだけ見舞い、その都度看護師等から情報提供をしています		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることができることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に、重度化した場合における医療体制指針の文書を公表しもしもの場合にどうしていくのかをいくつかの選択技を例にしながら説明しています。又、入居後も体調の変化に応じて繰り返し話す機会を設けております。	入居時に、重度化した場合における医療体制指針の文書を公表しもしもの場合にどうしていくのかをいくつかの選択技を例にしながら説明しています。又、入居後も体調の変化に応じて繰り返し話す機会を設けております。	重度化や終末期の対応について、入居時に説明している。終末期の対応については訪問医、看護師、職員とチームで支援していく体制が整っている。看護師から看取りについての話を聞き職員の不安を和らげている。利用者の状況の変化のたびに家族等と話し合い意志を確認しながら取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時マニュアルを各ユニットに設置し有事に備えています。応急処置などの説明は参考資料を使い全体会議などを通して研修を実施している	緊急時マニュアルを各ユニットに設置し有事に備えています。応急処置などの説明は参考資料を使い全体会議などを通して研修を実施している		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署や地区の方(ボランティアさん)にも参加して頂き、初期消火訓練や通報・誘導を定期に実施している	消防署や地区の方(ボランティアさん)にも参加して頂き、初期消火訓練や通報・誘導を定期に実施している	年2回、昼と夜を想定して消火、通報、避難、誘導訓練を実施している。また、地域のボランティアに参加してもらい利用者の見守り等地域の協力が得られている。	夜間を想定した訓練を実施し、利用者の状態を踏まえて夜間一人体制での避難誘導方法を全職員が身につけ、どのような場面にも対応出来るよう訓練を繰り返すことを期待したい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人情報保護法に基づき管理しています。声かけや対応はさりげなく行うように指導しています。居室はあくまでも入居者様の個人空間である事を理解し、入居時にはご本人に許可を得るように努めております	個人情報保護法に基づき管理しています。声かけや対応はさりげなく行うように指導しています。居室はあくまでも入居者様の個人空間である事を理解し、入居時にはご本人に許可を得るように努めております	居室、トイレはドアを閉めるよう心がけ入居の際には、声をかけプライバシーの確保に心掛けています。誘導の声掛けも目立たずさりげない対応に努め、記録等の書類も書庫に入れて管理を徹底している。	

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(1F)	ユニット名(2F)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人様に決定して頂くように努めています。決してスタッフ側の自己満足による押し付けにならないように選択技を個々にあわせて提示し出来るだけ本人の意思で生活していただいています。ご希望を優先に考え実現出来るように努力しています	ご本人様に決定して頂くように努めています。決してスタッフ側の自己満足による押し付けにならないように選択技を個々にあわせて提示し出来るだけ本人の意思で生活していただいています。ご希望を優先に考え実現出来るように努力しています		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本になる生活の流れは一応あるが、そこにとらわれず臨機応変な対応を心がけています。何もしない事を怖がらず本人さんが過ごしたいように心がけております	基本になる生活の流れは一応あるが、そこにとらわれず臨機応変な対応を心がけています。何もしない事を怖がらず本人さんが過ごしたいように心がけております		
39		○身だしなみやおしやれの支援 その人らしい身だしなみやおしやれができるように支援している	訪問美容業者に訪問していただいたり、訪問理美以外での店へ行けるようにしたりしています。	訪問美容業者に訪問していただいたり、訪問理美以外での店へ行けるようにしたりしています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎食の準備から片付けまで一緒に行うことにより、好みや楽しみなどを共感しています。普段と目先をかえて外食の機会をつくったり、外部より購入、好きな物を注文出前なども提供もしている	毎食の準備から片付けまで一緒に行うことにより、好みや楽しみなどを共感しています。普段と目先をかえて外食の機会をつくったり、外部より購入、好きな物を注文出前なども提供もしている	本社から献立表が届き、食材は事業所で買っている。畑で採れた野菜や利用者の好みに献立を変えることもある。調理専門職員が料理を担当しデザートも手作りにこだわって作っている。毎週月曜日の昼食は利用者と一緒に作れそうな献立にして調理、盛り付け、片付け等行っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分や食事量を毎食記録し、総合的な栄養摂取を把握し状態に応じた支援を実施しております。また、自由にお茶やコーヒーなども飲んでいただけるようになっています。状態によっては主治医に相談し高カロリーのものを取り入れるように努めております(ご本人の好きな物を食べていただく支援もしている)	水分や食事量を毎食記録し、総合的な栄養摂取を把握し状態に応じた支援を実施しております。また、自由にお茶やコーヒーなども飲んでいただけるようになっています。状態によっては主治医に相談し高カロリーのものを取り入れるように努めております(ご本人の好きな物を食べていただく支援もしている)		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に口腔ケアの促しをし実施していただいております。(毎週2回 月・木にポリドント実施) 毎日ポリドントをしている方もおります。	毎食後に口腔ケアの促しをし実施していただいております。(毎週2回 月・木にポリドント実施) 毎日ポリドントをしている方もおります。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々の排泄パターンを把握し、トイレ誘導を個々に行い失敗のないように努めております。万が一失敗があっても自尊心を傷つける事が無いようにつとめています	個々の排泄パターンを把握し、トイレ誘導を個々に行い失敗のないように努めております。万が一失敗があっても自尊心を傷つける事が無いようにつとめています	利用者毎の排泄パターンに応じて時間を見計らって誘導し、失敗のないようトイレでの排泄支援をしている。パットの大きさも利用者に合わせてものを使用している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘の原因や及ぼす影響をおおむね理解しており食事量・水分量・服薬・運動などを把握して便秘にならないように工夫対応しています	便秘の原因や及ぼす影響をおおむね理解しており食事量・水分量・服薬・運動などを把握して便秘にならないように工夫対応しています		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	希望者は毎日でも入浴出来る様つとめております。(体調も考慮のうえで)入浴を希望されない方にも無理強いはせず本人の意志にまかせ入浴をしていただけるよう努めると共に苦痛のならないような環境整備を心がけております	希望者は毎日でも入浴出来る様つとめております。(体調も考慮のうえで)入浴を希望されない方にも無理強いはせず本人の意志にまかせ入浴をしていただけるよう努めると共に苦痛のならないような環境整備を心がけております	行事が無い限り、毎日午後から入浴できるが基本的には週2回から3回入浴している。入浴を拒む利用者には声掛けの工夫や利用者に合わせて入浴支援を試みて個々にそった支援に努めている。	

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(1F)	ユニット名(2F)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	毎日の生活の中で個人のペースで過ごせる時間を大事にして、常に安心して生活でき、不安感を持たないよう環境作りに勤めております	毎日の生活の中で個人のペースで過ごせる時間を大事にして、常に安心して生活でき、不安感を持たないよう環境作りに勤めております		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	管理者は勿論ユニットリーダーは個々の服薬目的や副作用を理解しています。各フロアーに個々の情報ファイルを置きスタッフにも共有・理解出来る様に努めています。(ピルブックも設置)	管理者は勿論ユニットリーダーは個々の服薬目的や副作用を理解しています。各フロアーに個々の情報ファイルを置きスタッフにも共有・理解出来る様に努めています。(ピルブックも設置)		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活の中で、個々の状態に応じた役割をもっといただいている、生活の一部になっています。又、必ずありがとうございますの言葉を忘れずに少しでも達成感を感じていただけるように努めています	生活の中で、個々の状態に応じた役割をもっといただいている、生活の一部になっています。又、必ずありがとうございますの言葉を忘れずに少しでも達成感を感じていただけるように努めています		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩や外気欲など戸外に出る機会を作っています。後は日常的に必要な物の買い物もスタッフと一緒に実施しています。スタッフの見守りのうえで金銭の授受をご本人様に行っていただくよう努めております	散歩や外気欲など戸外に出る機会を作っています。後は日常的に必要な物の買い物もスタッフと一緒に実施しています。スタッフの見守りのうえで金銭の授受をご本人様に行っていただくよう努めております	日常的には、事業所の駐車場に出て周辺を散歩したり、利用者が必要とする化粧品や日用品を職員と一緒に近くのお店に買い物に行くなどの戸外に出る機会を作っている。また、帰宅願望のある利用者には職員が付き添い歩いている。毎月の外食時に季節の花を見に行くなど普段行けない場所への外出支援をしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的には、金銭管理はホーム側で行っていますが中には、ご家族の了承を得て、個人で小額の管理をしている方もおります。買い物の際は商品を選んでいただき支払いまで見守りし実施しています	基本的には、金銭管理はホーム側で行っていますが中には、ご家族の了承を得て、個人で小額の管理をしている方もおります。買い物の際は商品を選んでいただき支払いまで見守りし実施しています		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	各フロアーに設置の電話を使用できます。希望があれば電話連絡を取っています。手紙も同様に自由にやり取り出来る様にしております	各フロアーに設置の電話を使用できます。希望があれば電話連絡を取っています。手紙も同様に自由にやり取り出来る様にしております		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有スペースは常に清潔にし、カレンダーや写真など季節感のある雰囲気作りをしています。スタッフは入居者様に対して配慮し、大声や騒音を出さないように心がけております	共有スペースは常に清潔にし、カレンダーや写真など季節感のある雰囲気作りをしています。スタッフは入居者様に対して配慮し、大声や騒音を出さないように心がけております	開放感のあるリビングはテレビ、ソファが配置よく置かれ大きな窓から光が多く入り、景色も見渡せ利用者が居心地良く穏やかに過ごせる場所になっている。廊下には絵が飾られたり季節感のあるものを置くなど利用者が落ち着けるよう飾り過ぎない環境にしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	外にはベンチを設置し、ご入居様同士がゆったり過ごせる空間があります。フロアーにはソファを二脚置き自由に使用してテレビやビデオ鑑賞が出来る様になっています	外にはベンチを設置し、ご入居様同士がゆったり過ごせる空間があります。フロアーにはソファを二脚置き自由に使用してテレビやビデオ鑑賞が出来る様になっています		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、備え付けの家具ではなく、今まで使い慣れたものや思い深いものを持ち込んでいただいております	居室には、備え付けの家具ではなく、今まで使い慣れたものや思い深いものを持ち込んでいただいております	洗面台、クーラー、カーテンが居室に備えてある。整理ダンスやテレビ、ペット、鏡台など利用者毎使い慣れた物や写真、趣味で書いた習字など持ち込まれ居心地よく配慮された居室になっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下・トイレ・浴室・階段には手すりが設置されており、入居者様の身体機能を活かせるようになっています	廊下・トイレ・浴室・階段には手すりが設置されており、入居者様の身体機能を活かせるようになっています		